



R I. 第2620地区 静岡第2分区
三島西ロータリークラブ

週報

第1689号

事務所 静岡県三島市大社町17-4
TEL(055)976-6351 FAX976-6352
例会場 静岡県三島市本町14-31 みしまプラザホテル
TEL(055)972-2122
会長 平野 晴生 幹事 栗原 達治



広重版画より 三島 朝霧

第1750回例会

2008.6.19曇

司 会

古川喜仁君

ロータリーソング

「それでこそロータリー」
指揮 前田房江君

会長挨拶

副会長 亥角裕巳君

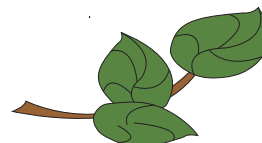
本格的な梅雨のさなか、元気な経営者の皆様にはご清祥にお過ごしのことと存じます。先週も東北地方に地震があり自然災害に対する日頃のリスク管理を再認識いたしました。

さて、先日『中小企業における経営の承継の円滑化に関する法律』という法律が成立しました。中小企業に対する各種支援事業、制度融資、事業承継税制の創設(納税猶予制度)等本格的な対策ですが、背景には国の経済を支えてきた中小企業経営者の高齢化に伴う事業承継問題が急速に現実化してきたことがあります。ここ10年間で中小企業数は532万社から419万社と113万社減少し、いまま加速度的に減少傾向が続いています。経済のグローバル化、急速な技術革新等により経営環境や市場競争が激烈をきわめ、右肩上がりの時代には何とかなったことが、どんなに頑張っても何ともならない状況のなかで、後継者にはより大きな経営能力が要求されます。少子化の中で大学教育を受けた子息が安定した大企業に就職を望み、現場第一の中小企業経営に魅力を感じないのも無理ないかと思いますが、国および大企業を支えているのは99.7%の数を占める中小企業の技術と労働力であるのも事実です。数々の支援策を利用することも大切ですが、後継者育成のため経営者が知恵を振り絞って、しっかりした夢とビジョンを伝えていくことが、大切なことと思います。

出席報告

	出席総数	出席率	メークアップ	修出席率
前々回	45/53	84.91%	48/53	90.57%
今回	43/50	86.00%	会員総数	54名

欠席者 荒川君、飯田君、黒田君、鈴木(貞)君、鈴木(敏)君、望月君、森崎君



幹事報告

幹事 栗原達治君

- ①清水銀行三島支店長である稲葉諭会員の松本支店への異動に伴い、後任となりました鈴木雅貴君の入会について、理事・役員会は推薦状を受理し、会員選考・職業分類委員会の審査・調査を経て、承認いたしました。
- ②三島市国際交流協会よりホストファミリー募集のお知らせが来ています。詳細は同協会副会長の平出・矢岸会員にお尋ねください。
- ③未払の会計のある委員会は、事務局まで御報告をお願いいたします。

2007～2008年度
国際ロータリー会長
ウィルフリッドJ.ウィルキンソン

ロータリーは分かちあいの心

クラブ協議会

クラブ奉仕委員会

委員長 亥角裕巳君

クラブ奉仕委員会は、クラブの奉仕活動を遂行するにあたり、「みんなが参加できる活動」「秩序ある楽しい例会」を基本とし、クラブ奉仕活動を遂行する各委員会がその機能を十分発揮できるように支援する役割です。今年度の各奉仕委員会の活動は、委員長のリーダーシップのもとで確実に初期の成果をあげたものと思います。

当委員会は長い間、ロータリーの四大奉仕の一つであるクラブ奉仕として出席・クラブ会報・親睦・雑誌広報・選考分類・増強・プログラム・情報の各委員会で構成されてきましたが、次年度よりCLP導入によりクラブ奉仕委員会の名称はなくなります。

実質的な活動は継続されますが組織のかたちは、選考分類・増強・情報が会員増強維持委員会として、雑誌広報・会報がクラブ広報委員会として、出席・プログラム・ITがクラブ管理運営委員会として、親睦活動委員会は奉仕プロジェクト委員会、ロータリー財団岡山委員会、姉妹クラブ委員会とともに独立した委員会として編成されます。

いずれにしてもロータリーの綱領に基づくクラブ奉仕、職業奉仕、社会奉仕、国際奉仕の四大奉仕を実現するためのCLP導入ということであり、クラブ奉仕活動が三島西ロータリークラブの団結と発展の中核であることに変わりありません。この一年間、平野会長のクラブ奉仕への御指導に感謝し報告といたします。

SAA

古川喜仁君

本年度は委員長に古川、副に花房さん、森崎さん、前田房江さんの4人のメンバーで運営してまいりました。

本年度基本方針は「三島西ロータリークラブの伝統と今年度の当クラブ基本方針を重視し、楽しく和やかで規律ある例会になるように心がける。」を目標に例会を進めてまいりました。下半期になってから、委員一人ひとりがSAAの役割を理解できたと思います。

今年度も、あと数回で1年間の例会運営を終わる事が出来ます。

年度はじめに4つの活動計画をたてました。

- ① 例会進行を効率的にするために、幹事との事前打合せをする。
- ② 定刻5分前の案内と携帯電話のマナーモード変換を依頼する。
- ③ テーブル配置の変更は4ヶ月に1度、年3回とする。
- ④ 会議変更時には、事前打合せし、必要なものは早め準備する。

以上をもとに運営してまいりました。上半期で不十分な点を下半期では補うつもりでしたが、充分とは言えませんでした。常に委員全員が事前に連絡を取り合い、例会進行の役割を決めて進めた結果、1年間大きなミスもなく、出来たのではないかと考えております。

また、1年間会長、幹事をはじめ会員の皆様のご協力、ご指導によって運営出来た事を感謝申し上げます。ありがとうございました。

個人的なことです。3年間、SAAの役割を無事に終了することができて、ほっとしております。やっと肩の荷が下りたと同時に、充実感もあります。本当にありがとうございました。

出席委員会

委員長 伊丹秀之君

今年度の西RCテーマは「先ず出席」です。又、初代会長大場会長の方針も「皆で例会に出席しよう」であります。ロータリーの基本は出席する事にあり、と言っても過言ではないと思います。「ロータリーの最低の奉仕は出席である」ことを基本に出席率向上に努力をしてまいりました。その活動には、3ヶ月に1回、平均出席率の報告をいたしました。出席率が悪い会員にはスポンサーを通して出席をお願いいたしました。又、年間100%の会員には表彰状と記念品を贈呈する予定となっております。出席率向上のため、多くの会員の皆様の多くのご協力賜り心より感謝申し上げます。

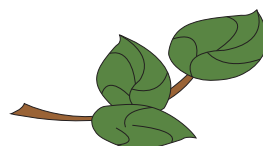
クラブ会報委員会

委員長 矢野敏夫君

当委員会基本方針の「会報遅れず休まず」を目標に一年を皆様のご協力で果たす事が出来ました事を厚く御礼申し上げます。

この一年の反省として、第一に原稿の収集はスムーズに出来たと思います。次に上半期から今年にかけて連絡がうまく行かず、週報担当者が固定できないこともありましたが、以降皆様のご協力とご支援で滞りなく発行できました。更に宇都宮さんの協力によってミニ情報、色彩など多彩な温かみのある会報となりました。また例会場での写真撮影等協力していただき大変助かりました。

終わりに地区協議会、IM、忘年家族会、各委員会での事業記念写真等で多くの皆様からスマイルして頂きましたこと、厚く御礼申し上げます。



親睦活動委員会

委員長 原 久一君

〈基本方針〉

親睦を深める為に各委員との協働によって委員会活動の充実と合理化を図り会員相互の楽しい例会にする。

〈活動計画〉

①夜間例会はアルコールの提供を図り楽しい親睦例会となるよう踏襲します。

②会員家族との親睦を深める。

③各委員と連携を図り親睦活動の充実と合理化を図る。8月

5日 家族と納涼例会 38名参加

12月20日 忘年家族例会 96名参加

1月11日 4クラブ合同新年例会 35名参加

6月26日 さよなら例会

今年度は例会扱いの行事、当日会費を徴収する場合はできる限り小額にするという会長方針に基づき4回の行事を開催して参りました。会費の無料化につきましては、多くの会員の協力をいただき消化することができましたことに感謝しております。又、親睦例会は特別な企画は出来ませんでした、アルコールを提供させて頂き、その日の労をねぎらい和やかな一時を過ごして頂く事が出来たと思います。

雑誌・広報委員会

委員長 鈴木郁夫君

年度当初に静岡新聞へ、西クラブの年間計画を提出し、記事が掲載されました。

本年2月に2620地区ガバナー事務所よりロータリーの友「手に手一クラブ探訪」への掲載推薦をしたいという連絡がありました。女性会員の活動、中学生交換研修制度、RI意義ある業績賞の受賞、親睦一座の事などを紹介し、35周年記念式典での西クラブの紹介スライドを印刷したもの、親睦一座のビデオを添付して、西クラブについての推薦文を送りましたところ、先日採用するという連絡をいただきました。2620地区からは2クラブ候補があったそうです。ロータリーの友「手に手一クラブ探訪」はグラビア4ページ程で、元朝日新聞の記者の方が2名取材に見えるそうです。

ロータリー雑誌月間の4月第1例会で、ロータリー必読の推進ということで、卓話を行いました。

また4月6日(日)沼津東急ホテルで2620地区の雑誌広報委員会がありました。

ガバナー、「ロータリーの友」地区委員、常任委員、各地区の委員長が出席され、「ロータリーの友」必読の推進、今回の委員会の内容を卓話の参考にしていただきたいとのことでした。

南クラブ広報委員長から2月25日に広小路 登喜和で、三島地区の広報委員会を行いたいという連絡があり、瀬川副委員長が出席いたしました。4クラブ合同で次年度より広報活動、新聞への案内などを行いたいとの事でした。

会員選考・職業分類委員会

委員長 日高 克君

下半期は3名の会員が入会されました。

○石井良衛君 介護事業

○澤村康子君 梱包資材製造業

○平出利之君 ビル管理

委員会の方々、一年間ご苦勞様でした。

会員増強維持委員会

委員長 諏訪部敏之君

今年度は純増目標を最低2名、最高5名としました。会員の皆さんのご尽力により4名の新会員を迎えることが出来ましたが、残念ながら2名の退会があり、結果は純増2名となりました。久し振りの純増ですので、平野会長に増強にご尽力を戴いた会員の皆さんに感謝状を贈呈したいとお願いしましたところ、了解を得ましたので、サヨナラ例会で感謝状を贈呈させて戴きます。

プログラム委員会

委員長 遠藤正幸君

卓話をポイントに換算して予定させていただきました。年度当初多少の調整がありましたが、ほぼ予定通りに実行できました。

反省点としてDVDの再生で前もって準備しておりましたが、いざ本番の時点で機械がうまく作動せず皆様にご迷惑をおかけしてしまいました。申し訳ありませんでした。バスト会長に卓話の時間が余ってしまい、水の話等有意義なお話をしていただき助かりました。

ロータリー情報委員会

委員長 勝間田信輔君

9月6日と6月10日の2回に亘り新会員のための勉強会をスポンサーの方を交え開催しました。「ロータリーの入門」のビデオ鑑賞した後、先輩会員よりロータリーの特典を述べていただき質疑応答の後、懇親会を開いて親睦を深めました。「ロータリー理解推進月間」でロータリーの歴史について卓話を行いました。ミニロータリー情報において「CLP」についての基本的な考え方と利点や課題についての情報提供を行いました。

今後、委員会として新会員へ配布する必要なロータリーの文献を定め、予算化して提供することを提案します。

職業奉仕委員会

委員長 田熊幸代君

上半期の職業奉仕月間である10月に万城食品株式会社のご協力を得て職場見学および卓話を実施いたしました。下半期では平野会長のご出席をいただき委員会での学習会を行い一年間を終る事が出来ました。ありがとうございました。

社会奉仕委員会

委員長 黒田 一君

- ①7月2日社会を明るく住みよい街をめざす市民大会 参加、平野会長、栗原幹事、黒田。
- ②7月19日三島市幼年消防クラブへの協賛(例会場)。
- ③8月2日富士山記念植樹の現状視察(参加者9名)。
- ④8月26日赤十字献血活動に協力(献血協力者59名)。
- ⑤10月7日見晴学園フェスティバルへ参加、前日の準備また当日には多くの奥様方のご協力いただき有難うございました。又、会員の皆様には特別スマイル を頂きまして助かりました。
- ⑥5月15日苗栗の苑の清掃を変更して、三島市内ゴミ 拾い活動を実施(参加者39名)。

国際奉仕委員会

委員長 矢岸克行君

本年度は苗栗RCより中学生の受入れをし、ホストファミリーを受けて頂いた岩崎守幸君、遠藤武子君、佐野宏三君には大変お世話になりました。無事に各事業をこなし、事故もなく終了出来ました事を御礼申し上げます。

ロータリー財団委員会

委員長 栗田正司君

- 1.年次寄付:地区目標US\$100／1人・年間にに対し、寄付金総額US\$5,700／52名(期首会員数)= 109.6%
 - 2.恒久基金寄付(ベネファクター):地区目標1名以上に対し、栗原達治君、栗田正司の2名よりUS \$1,000の寄付をいただきました。
 - 3.ロータリー財団の事全般に亘って、地区内でロータリー財団に最も詳しい地区ロータリー財団副委員長の前根さんを卓話に招き説明して頂きました。皆様には十分な理解が出来た事と思います。
- 以上3項につきまして全て目標達成する事が出来ました。皆様のご協力ありがとうございました。

米山委員会

委員長 西村和男君

- 年度初めに企画した事業計画に基づいて以下の行事を行った。
- ①米山記念奨学会事業に対するクラブの拠出金並びに個人の特別寄付を臨機応変に懇請した。
 - ②米山記念館に対しては、10月の米山月間に例会を記念館に移動し、台湾出身の張恵蘭さんに“台湾におけるコミュニケーション行動”と題して卓話をしていただいた。
- 又、4月29日の春季例祭には米山記念奨学会理事長の板橋敏雄氏の講演があり、又、本年2月より空席であった記念館理事長に三島クラブの渡辺脩助パストガバナーが選任された。

CLP導入実行委員会

委員長 遠藤正幸君

次年度よりCLP導入ということで平野会長、亥角副会長を中心に検討してきました。パスト会長の助言もいただき臨時総会で細則の見直しを承認していただき次年度から正式にスタートすることが決まりました。よろしくお願いします。

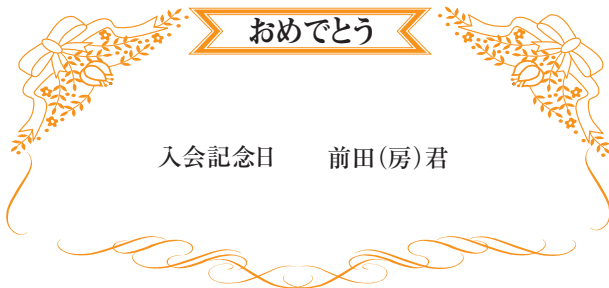
年間報告

会長 平野晴生君

各委員会とも年度計画に基づき、ほぼ予定通り活動していただきまして、十分な成果をあげていただきました。私としては十分に満足で何も言う事はありません。この一年間会員の皆さん各委員会の皆さんには大変ご協力をいただきまして、誠にありがとうございました。厚く御礼申し上げます。

今年度会長方針の結果について

- 1.地区目標については、次の通りほぼ達成することができました。
- ①会員増強、純増2名一達成
- ②ロータリー財団寄付、\$114／人一達成
- ③ベネファクター2名一達成
- ④米山記念奨学会寄付、＼11,625／人ー97%達成
- ⑤GSEー当クラブは担当外
- ⑥地区活性化援助金、＼2,500／人ー達成
- 2.CLPの次年度導入準備はすべて整いました。
- 3.例会扱いの親睦行事の当日会費はすべての行事(4回)で一切徴収する事無く年度予算で賄い、質素で効果的な行事が行えたと思います。
- 4.例会出席率は目標の95%には届きませんでしたが、最終的に少なくとも90%以上にはなるものと思います。
- 5.例会卓話はほとんどが会員に卓話をしていただきました。
- 6.夜間例会の親睦例会は予定通り7回、有意義に実施できました。



※スマイルボックスは次号に掲載します。

(週報担当:松坂由子)

三島西RCテーマ

先 ず 出 席